

1・2学年 イノベータ講演会②

カインズ(株) 代表取締役会長 土屋 裕雅 氏

「カインズの価値創造ストーリー」

12月9日(水)に本校の卒業生でもあるカインズ(株)代表取締役会長の土屋氏をお迎えし、1・2学年を対象に講演をしていただきました。70分間にわたる熱のこもった講演とその後も多数の生徒が質問を行い、とても有意義な時間を過ごすことができました。

<生徒の感想より抜粋>

・「いせや」に始まる「カインズ」は、時代の波に合わせて大きな方向転換を何度も行いました。「チャンスだ、必要だと思ったら、思い切って今までやってきたことに縛られずに決断を下す。」容易なことではありませんが、理論武装と世界の情勢の把握に自信があったからできたのでしょう。大胆な決断とそれを支える周囲の情報・根拠の重要性を感じました。



・リーダーとして人の先に立つ人は、他者からの信頼が最も大切だと思いました。会長自身も社長になったときにすぐには活動せず様子を見ていたり、各部門の中での信頼を獲得したりと、他者からの信頼を大切にしていました。私たち前高生にとっても、今後大切なことだと思いました。

・新商品開発のための4つの視点が述べられていましたが、その中でも「ずらす」というものが今後の生活や探究において役立つと思いました。自分は新たに何かを思いつ

くことが苦手で、発想力や想像力が乏しいです。ですが、元々ある発想を他のものに应用することは、発想の転換により新たな発想を得ることよりは容易にできます。これこそが「ずらす」ことであると分かりました。また、周りに合わせすぎず、自分だけで突き進んでもいけないということも分かりました。自分の信念を強く持つことも大事ですが、先を見越す「目」と周りの状況に応じて判断できる「柔軟さ」こそが大事であることが分かりました。